



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.128



10月

発行／公益社団法人国際観光施設協会
総務委員会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
2-8-5 多幸ビル九段2階
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp
URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2020年10月1日

変化する都市公園

副会長 大内政男

コロナウイルスにより外出行動が制約を受ける中身近にある公園を息抜きの場、又リモートワークの場として利用した人は多いのではないだろうか。私もその一人であるが、この都市公園が最近大きく変化している。例えば東京の新宿西口公園、1968年に都立公園として都庁の西側にオープンした公園は年月を経て緑が濃くなり春には桜も楽しめる公園として親しまれてきた。しかし交流交歓の場は公園中央にある滝のある広場で「蚤の市」が開かれる程度で人々がゆっくりと寛げる拠点となる魅力的な施設は存在しなかった。そこにこの夏オープンしたのが「シュクノバ」という交流施設である。コーヒーショップやレストラン、ヨガやボルダリングなどのスポーツ施設と合わせて誰でもオープンに利用できる屋外テラスが整備され、その前面には程よい広さの芝生広場が配置された。普段、あまり賑わいの無かった西口公園には多くの人が訪れるようになり、安全で快適な賑わいあるコモンスペースへと変化した。この施設と芝生広場は「パークPFI」という制度を活用し民間のノウハウと資金を取り込んで整備されたもので、新宿区としては初めての試みであるが、東京や大阪

また大都市に限らず既に多くの都市で都市公園の魅力向上に寄与している。

コロナウイルスがもたらした今日の状況は歴史的に見れば時代の転換点であり、街や都市が作り出してきた文化の転換点としてとらえることも出来るだろう。生活様式の変化は私たちの暮らす身の回りの空間を、街や都市をどのように変えていくのか、今その答えを見つけるのは容易ではない。しかし身近にある公園や街路がより安全で快適な交流交歓の場として変化し、その重要性が人々に意識され魅力を高めていく事が街や都市の魅力を高めていく事に疑問の余地はない。「パークPFI」に限らず公園や街路などを民間のノウハウと資金を活用して魅力あるコモンスペースとして整備するこれら事業制度は、今日のコロナ禍を予測して準備されたものではないが、期せずしてコロナ後の街や都市の新たな有り様を私たちに示してくれているのではないだろうか。

旅の訪問先にはその街や都市の魅力が必須であり、コモンスペースとしての都市公園や街路空間の有り様はその魅力に直結する。

ウィズコロナ時代に向けて各分科会の活動

技術委員会 野出木貴夫

今年度はコロナ感染拡大の影響を受け、思うように活動のスタートを切れませんでした。5月の連休明けからは、協会を起点にしたリモートによる会議の準備も整い、順次各分科会、研究部会ともにWeb開催することにより、それぞれの活動が徐々に再開され始めました。まさしくウィズコロナ時代の協会活動を模索しながら新しい課題に挑戦し始めたという状況です。

特に今年は新テーマ：「ワーケーション」、「フェーズフリー」に関連した研究テーマが各分科会、各研究会、委員会に取り入れられています。

【ホテル都市分科会】は、昨年度の新UD客室研究の流れを引き継ぎながら、今年は客室ドアの自動ドア化をテーマに再チャレンジしています。又木づかい推進チームは「ワーケーション」、「フェーズフリー」を意識しながら課題を模索中といったところです。

【観光交流空間のまちづくり研究会】は、コロナ禍の中「トレンド探偵」はしばらく休止とし、Web開催が可能な「クロストーク」を中心に活動を開始しました。「ワーケーションの事例」、「ツーリズムの状況・未来」などのセッションを予定しています。

【旅館観光地分科会】は、上記研究会と連携を取りながら、「IT, IoT, AI 利活用による宿泊施設のコンシェルジュ化」をテーマに活動を進めています。日本にある観光コンテンツを再発見し、地域創生にも寄与すべく旅館ホテルを起点にした町起こしを「町じゅう旅館・ホテル」と銘打って、実証実験を浅草と京都で展開しています。その成果が楽しみです。

【エコ・小 委員会】は、エコ・小のコンセプトにウイズコロナを掛け合わせた研究を展開しています。3密対策の一つ換気について箱根の旅館を調査し、PC上で気流の流れをシミュレーションする実証実験を進めています。

【インテリア分科会】は、昨年度同様の施設調査を継続していきたいと考えていますが、コロナの感染状況を見ながらしばらく停滞を余儀なくされています。感染が納まるまでの間、今年度の新たなテーマ「ワーケーション」、「フェーズフリー」についてインテリア分科会ならではの提案をしていきます。

【耐震研究会】は、ホテル・旅館の耐震改修の促進について研究を進めています。今年度は特に耐震助成制度の調査のほかSDGsへの取り組み、事業継続性計画（BCP）としての耐震化研究を中心に推進の予定です。

以上 10月22日に開催されますCSV中間報告会にて各グループよりその進捗状況を報告させていただきます。ご期待いただきますと共に、皆様の積極的な支援と参加をお願いいたします。

建築部会の活動状況とこれからの予定

建築部会長 崎山 茂

オリンピックが予定された2020年も、早4分の3が過ぎようとしています。昨2019年はホテル見学会と水上セミナーを2回ずつ開催しましたが、今年はコロナ禍のためにホテルでの報告を最後に活動を停止しています。昨年11月の水上セミナー第5弾の後、今年の3月末に第6弾としてお花見クルーズ企画していましたが実現できず、委員会も開催していません。元々会員の交流を主目的とする交流部会にとって、人の交流を制限される昨今の状況は死活的であり、活動形式の変革を余儀なくされています。Webを通じた委員会の再開により少数の委員からなる啓蒙的な活動をまずは模索していきたいと考えています。

設備部会の活動状況とこれからの予定

設備部会長 藤野健治

設備部会では、「地球環境保全関係の情報を収集研鑽し広める活動」「会員企業にとって興味のある施設の見学を通じて新技術等に関する幅広い知識を習得する活動」等を行っています。令和2年度は、これまでに、「新型コロナウイルス感染防止対策と換気設備」についての情報発信を行うための幹事会(Web利用)を開催し、協会ホームページへの掲載を準備中です。

事業計画としては、2回の施設見学会と1回の設備部会全体交流会を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、施設見学会の開催や設備部会全体の交流について、社会の状況を踏まえながら実現に向けた打合せを進めています。また、活動状況につきましては、機関紙に掲載し皆様に情報発信して行きたいと思っております。

インテリア部会の活動状況とこれからの予定

インテリア部会長 寺本昌志

今年度の部会活動は4月に日本政府より発出された『緊急事態宣言』により、年度初めより活動を自粛しなければならない状況となりました。部会の目的となっている会員の交流は、新型コロナウイルス感染防止対策となっている『3密を避ける』という点で、活動すること自体が難しい環境となっています。そんな中で、部内の幹事会を6月3日のメール発信により電磁的に行いました。幹事会では、こ

の状況が続くようでは、顔を合わせたミーティングは危険だとのご意見がほとんどで、今後部内で行われるミーティング等はWebによる開催が望ましいとのことになりました。状況が変わらないようであれば、次回の幹事会もWeb会議で行いたいと思いません。現状での各グループの活動の運営方法は『3密回避』を前提に、各グループの中で話し合ってもらい、Webによるグループミーティングやセミナー開催企画の提案、メールによる情報交換等を進めている状況です。

ただ、やはりこの状況下での活動推進は思うようにできないのが現状です。いずれにしましても状況が好転し、これまで通りの活動が行える判断ができるようになりましたら、各グループにてまずは無理をしない範囲で、会員の皆様の健康を第一に考え、行動に移していきたいと思っています。

第49回2021国際ホテル・レストラン・ショーのお知らせ

ホテルズ実行委員会 委員長 浅野一行

第49回2020国際ホテル・レストラン・ショーは、令和3年2月16日(火)～19日(金)、会場を東京ビッグサイト(西展示棟・南展示棟)に戻して開催されます。

今回の協会ブース出展は、新型コロナウイルスの感染拡大により、観光業界が受けた計り知れない影響をふまえ、総合テーマを「ウイズコロナ時代のニューノーマル」とすることにいたしました。よって、これまでの分科会・委員会毎の展示はいったん休止し、全協会で取り組むテーマについて、新たにチームを編成します。

テーマチームは、「ワーケーション」、「フェーズフリー」、「町じゅう旅館・ホテル」、「ウイズコロナ時代の設備」、「ウイズコロナ時代の建築」、「ウイズコロナ時代のインテリア」の6つです。

既に皆様のお手元には、ホテルズショーの参加申込書が届いていると思います。参加形式は、以下の3種類となりますので、全会員参加の主旨をご理解の上、いずれかに申込みいただきますようお願いいたします。

①テーマ展示参加(参加費8万円)

上の6つのテーマチームの1つに加わり、研究成果の発表と共に、貴社の計画・技術・製品をアピールし

ていただきます。ショートセミナー（Web 配信）、ゲートに社名表示付きです。

②QRコード付ポスター参加（参加費 4 万円）

A3 版のQRコード付ポスター（PRされたい製品のパンフレット）を掲示し、QRコードで製品掲載サイトへ誘導します。ショートセミナー（Web 配信）、ゲートに社名表示付きです。

③CSV社名参加（参加費 2 万円）

例年通り、通路に面して市松模様には社名（ロゴマーク）を表示します。

また今回は新たな試みとして、従来のパネルによる展示に代わり、映像を中心とした展示を計画しています。

12月8日の忘年交歓会は中止！ セミナーはオンラインで開催予定！

事業委員長 岡野正人

新型コロナウイルス感染拡大がなかなか収まりを見せない状況下で、会員の皆様に安心してご参加頂ける忘年交歓会をどうやって開催できるか、事業委員会は事務局や会場側と模索してまいりました。

当協会主催の大型イベントが、万が一にもクラスター感染源となつてはならないという想いから、誠に不本意ではありますが、12月8日の忘年交歓会は中止とすることとなりました。但し、年末セミナーにつきましては、Webセミナーの形で実施する予定です。講師に、スターバックスコーヒー・ジャパン（株）副社長の 大嶋 バニッサ 氏（ニュージーランドご出身）をお招きして、『言い訳を探すより、方法を見つけよう・Find a way, Not an excuse (仮題)』と題し、世界企業スターバックス社の経営理念、SDGs に沿った戦略、ニューノーマル社会での生き残り方などをお話しいただく予定です。

Webセミナーですので、何処からでもご参加ください。12月8日（火）16：00からです！

乞うご期待！セミナーの詳細は追ってご案内いたします。

☆新入会員紹介☆（入会順）

[メーカー] ソニーマーケティング株式会社
(代表者) (担当者) プロフェッショナル営業部
真砂野 透 課長 光成和真
〒141-0001 東京都品川区北品川 5-11-3
TEL050-3807-2501 FAX050-3807-2499
営業内容: ソニー商品のマーケティング、セールス

[メーカー] ㈱エービーシー商会ホールディングス
(代表者) 代表取締役社長
三井威徳
〒351-0001 埼玉県朝霞市上内間木 745
TEL048-456-3161 FAX048-456-2089
営業内容: 一般貨物自動車運送事業、貨物自動車運送取扱業、倉庫管理業、不動産管理業、業務委託

[賛助会員] 抗菌美装株式会社
(代表者) 代表取締役 (担当者)
鈴木詠里子 宮下季代子
〒395-0156 長野県飯田市中村 6-3
TEL0265-28-2777 FAX0265-28-2011
営業内容: 抗菌事業、美装事業、塩素販売、入浴剤販売

♥編集後記♥

技術委員会より、ウィズコロナ時代に向けて取り組む各分科会の活動内容が、また各部会より、現況で実施できる活動内容が発表されました。経済活性化のため、イベントの開催制限や飲食店の時短要請が解除され、10月1日をもって東京もGoTo トラベルキャンペーンに加わることとなり観光事業にとってやっと正常の状態に戻れる環境となりました。ただ、コロナウイルスの感染が止まらない状況での規制緩和は、各事業所における感染防止対策はこれからも続けて求められることとなり、業界のご苦労は絶えることがないことと思われます。

協会活動を通じて観光業界に貢献できますように全員で事業に取り組んでまいりたいと存じます。

Y. K